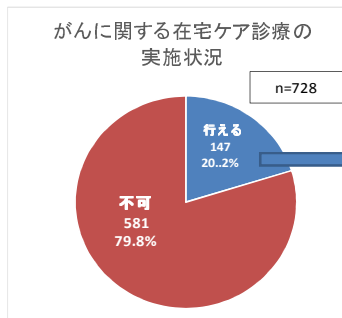


調査結果【診療所】概要

回答 728 施設 / 対象 1,208 施設 (回答率 60.3%)

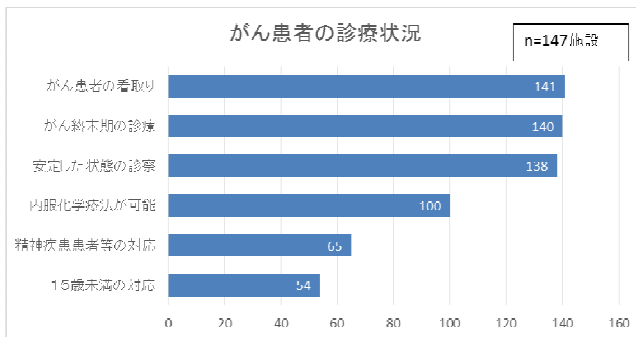


在宅療養支援診療所の届け出済み	58
機能強化型在宅療養支援診療所の届け出済み	18
計	76

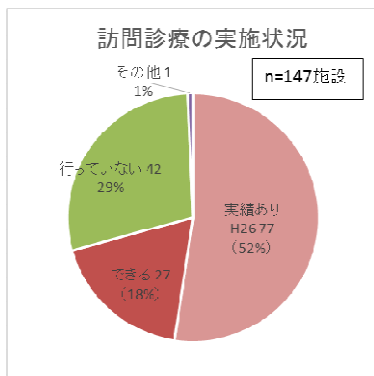
がんに関する在宅ケア診療の実施状況については回答のあった 728 施設のうち、「行える」と回答のあった施設は 147 施設 (20.2%) であった。

うち、在宅療養支援診療所の届け出済み 58 施設、機能強化型在宅療養支援診療所の届け出済み 18 施設であった。

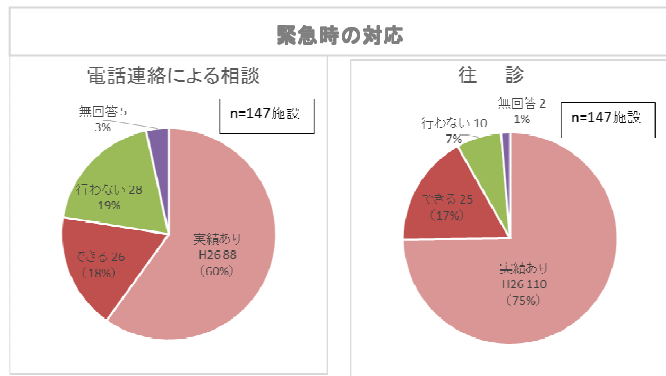
以下、がんに関する在宅ケア診療行える 147 施設 (20.2%) の状況を示す



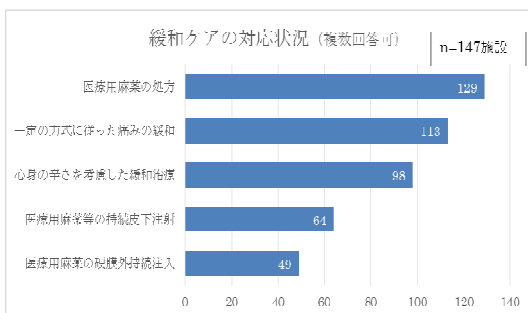
がん患者の診療の状況については、質問項目の中で、「がん患者の看取り」と回答した施設 (行える施設) が 141 施設と最も多く、続いて「がん終末期の診療」(140 施設)、「安定した状態の診療」(138 施設) であった。



訪問診療の実施状況については「実績あり」が 77 施設、「できる」が 27 施設となり、訪問診療の可能な施設 (「実績あり」及び「できる」の和) は 84 施設 (70%) であった。



緊急時の対応については、電話による相談が可能な施設 (「実績あり」及び「できる」の和) は 106 施設 (78%) となり、往診については可能な施設 (「実績あり」及び「できる」の和) は 135 施設 (92%) であった。



緩和ケアの対応状況については、質問項目の中で、「医療用麻薬の処方」と回答した施設 (行える施設) が 129 施設と最も多く、続いて「一定の方式に従った痛みの緩和」(113 施設)、「心身の辛さを考慮した緩和治療」(98 施設) であった。